

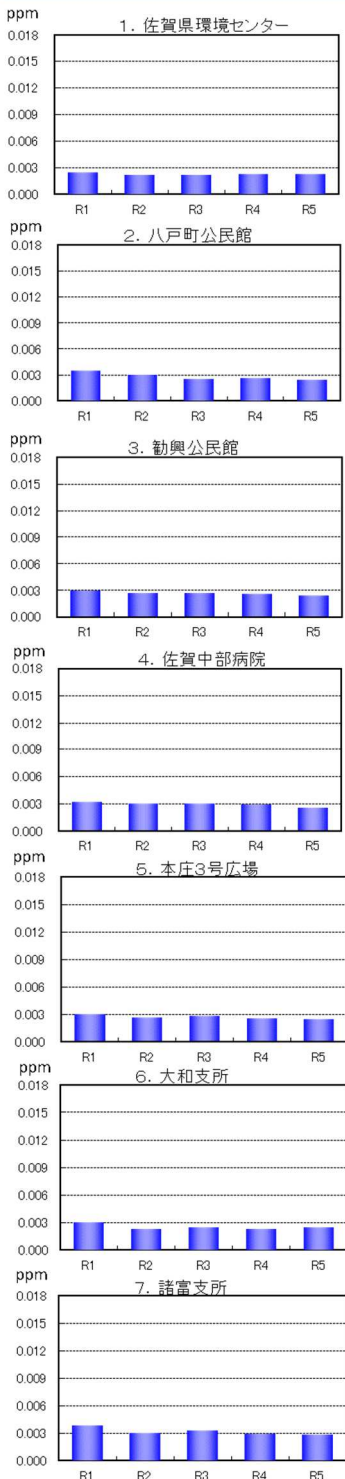
## 大気

大気汚染は、工場等で物を燃やしたり、自動車が走行したりする際に発生する、窒素酸化物や硫酸酸化物等により引き起こされています。

佐賀市では、窒素酸化物中の二酸化窒素を市内の7地点で、ガスバック法により測定しています。測定値はいずれも環境基準値以内であり、特に問題は見られません。

### 二酸化窒素の環境基準

0.04~0.06ppm のゾーン内または、それ以下の値。



### 窒素酸化物

窒素酸化物は物が高い温度で燃える時に発生する気体です。大気中には主として一酸化窒素と二酸化窒素の形で存在します。二酸化窒素は濃度が高くなると、ぜん息や気管支炎などの病気を引き起こしたり、光化学スモッグや酸性雨の原因になったりします。

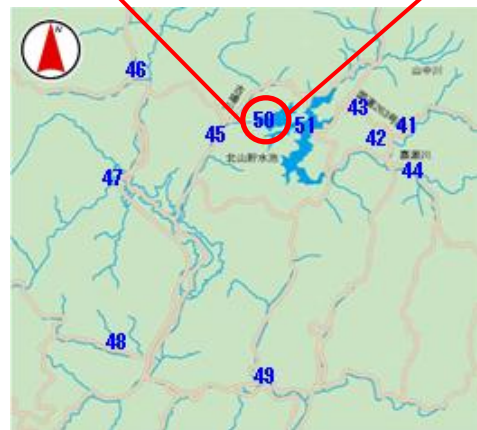
### ガスバック法

大気中の二酸化窒素などの簡易測定方法。二酸化窒素などの分子拡散を利用し、長期間にわたり捕集するもので、風速、温度、湿度などにより捕集率に影響を受けない構造になっております。測定結果は、捕集後発色させて吸光光度法により定量したものを平均濃度で表します。

# 水質

## 公共用水域（河川、湖沼及び海域）の水質

環境を客観的な数値で把握するため、公共用水域（河川、湖沼及び海域）の水質調査を行っています。公共下水道の供用地区では、水質が浄化されています。



市内中心部

No.	地 点 名	BOD
1	北部バイパス交差点	0.5未満
2	大財橋	0.5
3	玄海橋	0.9
4	護国神社前	0.5未満
5	愛右エ門橋	0.5未満
6	土井団地入口	0.7
7	旭橋	0.6
8	枝吉サイフォン	0.5
9	循誘小学校前	0.5
10	大井手橋	1.1
11	新高橋	1
12	すみれ橋	1.1
13	高柳スクリーン	0.5
14	正里橋	0.5未満
15	巨勢橋	1.1
16	南堀	1.7
17	西頭橋	0.6
18	本庄袋地区	1.2
19	天祐寺前	0.5未満
20	廿橋	1
21	逆井手樋門	1.1
22	鍋島地区	0.5
23	中央橋	1.4
24	北川副小学校前	1
25	地藏橋	1
26	どん3の森北	0.6
27	少年刑務所	0.6
28	塚原橋	1.2
29	念仏橋	0.9
30	神野上水取水口	0.5未満
31	修理田橋	1.1
32	佐賀江大橋	1.4
33	新郷橋	0.7
34	中島橋	1.9
35	堂地橋	1.4
36	本庄江橋	1.9

大和町

No.	地 点 名	BOD
37	上戸田天満宮	0.7
38	福島橋	0.6
39	南小路下水路	0.7
40	尼寺下水路終点	1.9

三瀬地区

No.	地 点 名	BOD
41	大佐古橋付近	0.5未満
42	岸高上流	0.5
43	岸高下流	0.7
44	薙野下流	0.5未満

富士町

No.	地 点 名	BOD
45	新小関橋	0.5未満
46	道園上流	0.5未満
47	大串橋	0.5未満
49	本村頭首工	0.5未満

北山ダム

No.	地 点 名	COD
50	北山ダムダムサイト	4.0
51	北山ダム中央	3.6

諸富町

No.	地 点 名	BOD
52	小杭橋	2.6
53	聖人橋	3.1
54	庄屋給橋	2.7
55	五郎右衛門樋門	4.6
56	千人塚	2.8

東与賀町

No.	地 点 名	BOD
57	立野	1.6
58	搦	2.7
59	下古賀北	1.3
60	住吉西	1.9
61	大授二	1
62	中飯盛	0.7
63	飯盛	1.1

川副町

No.	地 点 名	BOD
64	東南里	0.7
65	西古賀	1.7
66	広江東	1.9
67	南15区西	3.1
68	南2区	3.5
69	南18区	3.4
70	南12区	4.5
71	東古賀	1.9
72	下早	3.6
73	大詫間9区	6.5

久保田町

No.	地 点 名	BOD
74	徳間取水口	0.5
75	北田	0.8
76	下新ヶ江汚水処理場上流	2
77	搦西	3.9
78	久富汚水処理場上流	2.4
79	福所	0.8
80	江戸汚水処理場上流	1.9
81	中副	0.6
82	横江	2.6
83	関左エ門制水ゲート東	0.9

有明海

No.	地 点 名	COD
84	B-3	2.2
85	B-4	2.1
86	B-5	1.6

**BOD**：生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）の略。水中の有機汚濁物質を分解するために微生物が必要とする酸素量のことで、河川の汚れを測る代表的な指標です。この数値が大きいほど水中の汚れが進んでいることを示しています。

BOD	1 mg/L 以下	2 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	10 mg/L 以下	10 mg/L より大きい
目安	ろ過などで水道水に使える水	ヤマメ、イワナが生息できる水質	サケ、アユが生息できる水質	コイ、フナが生息できる水質	農業に使える水	不快を感じない程度の水質	臭いを感じる水質

**COD**：化学的酸素要求量（Chemical Oxygen Demand）の略。水中の有機汚濁物質を酸化剤で分解する際に消費される酸素量のことで、海域及び湖沼の汚れを測る代表的な指標です。この数値が大きいほど水中の汚れが進んでいることを示しています。

COD	1 mg/L 以下	2 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	8 mg/L より大きい
目安	ろ過などで水道水に使える水、ヒメマスが生息できる水質	マダイ、ブリが生息できる水質	サケ、アユが生息できる水質	コイ、フナが生息できる水質	不快を感じない程度の水質	臭いを感じる水質

## 地下水の水質

佐賀市では、地下水の状況を把握するため、水質調査を行っています。  
令和5年度は25本の井戸で実施しました。



水質調査の結果、全ての井戸で基準値を満たしていました。

## 騒音・振動

市内では、道路に面した区域で道路交通に伴う騒音、振動及び交通量の調査を市内12地点で行っています。令和5年度は、3地点で調査しました。

(毎年3地点を測定し、4年で一巡するようにしています)。

令和5年度の測定では、騒音・振動とも要請限度値以下となっています。



**厘外西公民館**

	R5	R1
騒音	68dB	66dB
振動	45dB	46dB
交通量	141台	117台

**城南中学校**

	R5	H30
騒音	65dB	65dB
振動	38dB	41dB
交通量	200台	137台

騒音・振動調査場所【南部（諸富）】



騒音・振動調査場所【北部（大和）】



J A さが諸富町支所野菜集荷場

	R5	R2
騒音	65dB	65.8dB
振動	39dB	41dB
交通量	89 台	71 台

騒音・振動の調査結果

No.	地点名	年度	騒音 (dB)	振動 (dB)	交通量 (台)	No.	地点名	年度	騒音 (dB)	振動 (dB)	交通量 (台)
1	佐賀県立図書館	R2	60.6	40	86	7	鍋島公民館	R4	67	43	194
2	牛島宿交差点	R2	64.1	32	85	8	城南中学校	R5	65	38	200
3	au ショップ佐賀中央	R2	68.3	47	281	9	マルキョウ大財店	R3	66	39	134
4	浄蔭寺	R4	66	44	212	10	佐賀東部水道企業団	R3	71	48	316
5	厘外西公民館	R5	68	45	141	11	J A さが諸富町支所 野菜集荷場	R5	65	39	89
6	佐賀北高等学校	R3	62	41	126	12	印鑰神社	R4	65	40	113

騒音	デシベル (dB)	~50デシベル	~60デシベル	~70デシベル	~80デシベル	~90デシベル
	騒音	静か ←————→ うるさい				
	音の例	静かな住宅地の昼	平均的な事務所内	普通の会話 騒々しい街頭	電話のベル音	カラオケ(店内) 交通量の多いトンネル

振動	デシベル (dB)	~50デシベル	~60デシベル	~70デシベル	~80デシベル	~90デシベル
	振動	静か ←————→ 揺れる				
	振動の例	人は揺れを感じない	少数の人がわずかな揺れを感じる	多くの人が揺れを感じる	ほとんどの人が揺れを感じる	吊り下げ物が大きく揺れる

# 自然環境

## 佐賀市の豊かな自然

佐賀市の中南部は平野に農地が広がり、農業用水と生活用水を得るための水路が網の目のように張り巡らされています。これらの水辺は水生生物や野鳥など、多くの生き物が集まる場になっています。このような環境は泥上げや草の刈り取り等、人が管理をすることで保たれています。

北部は背振・天山山系に囲まれた山林地帯となっており、ダム湖や森林、溪流などの環境が見られます。南部の有明海に面した広大な干潟では、ムツゴロウやシチメンソウ、クロツラヘラサギなどの珍しい生き物を観察することができます。

## 水辺の生き物

本市には水田や水路、池沼など多様な水辺環境あり、それぞれの環境に適応した生き物たちを育てています。全国的に絶滅が心配されている貴重な生き物も、数多く生息しています。



## 森の生き物

北部の森林地帯には溪流や湿原、起伏に富んだ山々など多様な環境があり、平野部とはまたちがった生き物が生息しています。



# 自然環境

## 有明海の生き物

渡り鳥の一大渡来地でもある有明海の干潟には、ここでしか見られない生き物が多数生息しており、全国的にも貴重な環境が保たれています。漁業も盛んで、特にのりの養殖が盛んです。



## 白石原湿原 (久保泉町大字下和泉)

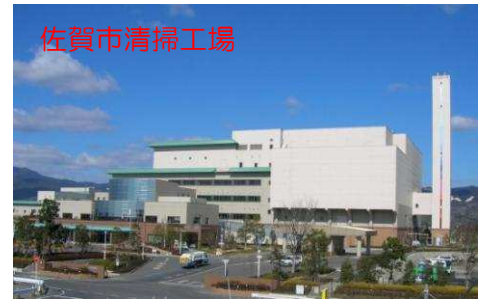
白石原湿原は、生き物が住みやすい環境づくりを目的として平成13～14年度に整備をし、地元住民などの協力により湿原やその周辺環境の維持管理を行ってきました。

ここでは四季を通じてトンボや野鳥などたくさんの生き物を観察することができ、いこいの場として多くの方に親しまれています。

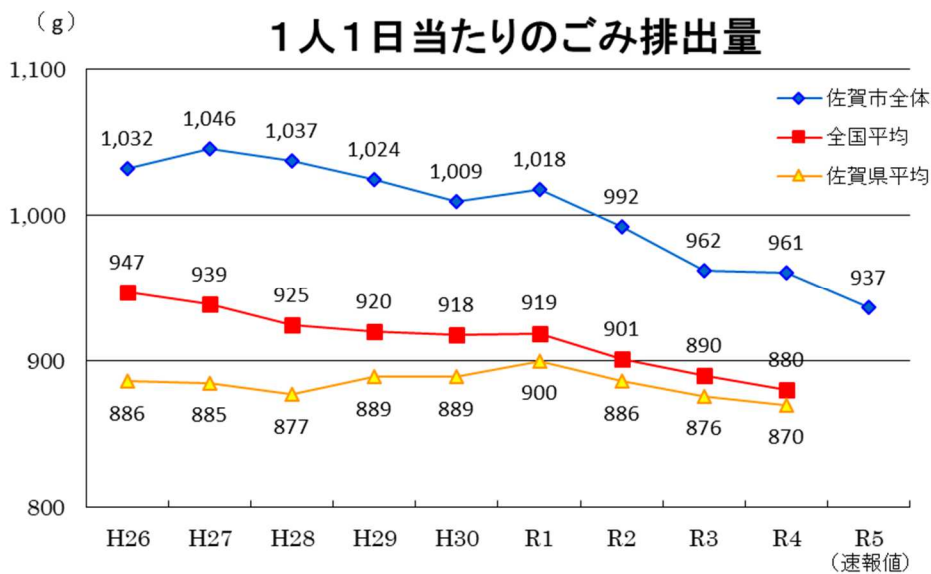
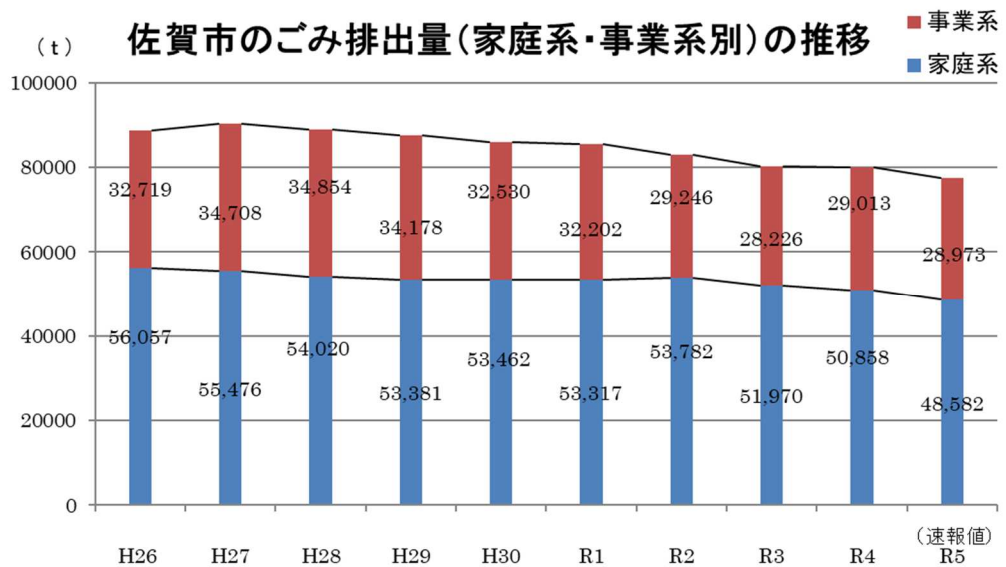


# ごみ

佐賀市では、「1人1日当たりのごみ排出量938g」を令和6年度までの目標とし、家庭のごみと事業者のごみ減量の各行動目標を定め、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組んでいます。



## ごみの排出状況

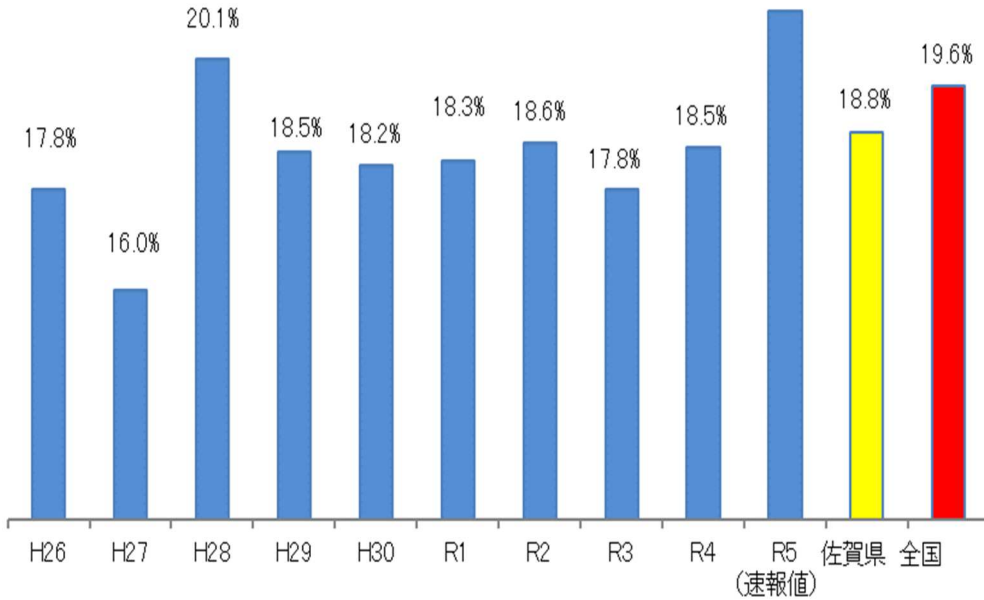


佐賀市のごみ排出量は減少傾向にあります。それでも、1人1日当たりのごみ排出量は全国や佐賀県の平均を上回っているのも、もっとごみを減らしていきたいですね。

# ごみ

## リサイクルの状況

### ごみのリサイクル率



※ 佐賀県及び全国は令和4年度の値

※1 マテリアルリサイクル  
資源物を原材料として新たな製品をつくること。



※2 サーマルリサイクル  
ごみを焼却した時の熱を利用して発電や温水利用すること。

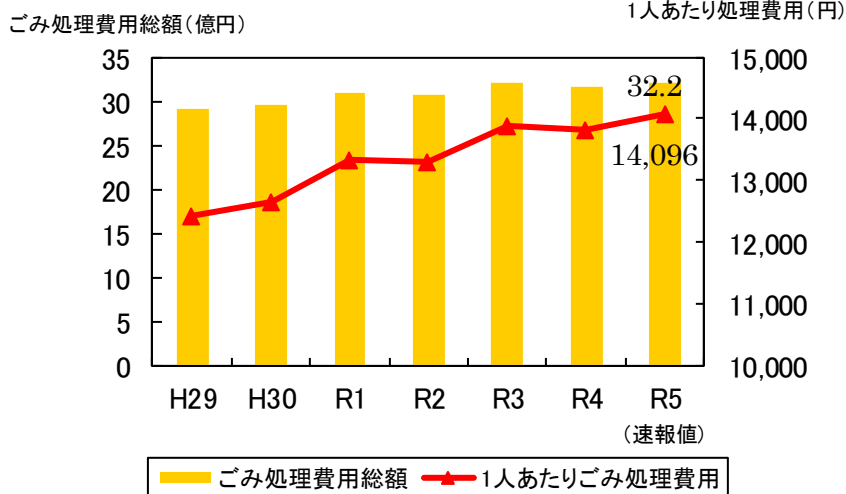


この他にも、佐賀市清掃工場ではサーマルリサイクル※2を行っています。  
令和5年度はサーマルリサイクルで12,744トンのCO<sub>2</sub>を削減しました。



## ごみ処理費用

### ●ごみ処理にかかるお金



佐賀市ではごみ処理に年間約32億円ものお金が使われています。  
1人あたり年間1万4千円ぐらいのお金を使っていることになります。

